【生帯十六月同盟先急報】虹微、「経験部隊は巡逻整備部令部その他」り、慰認は午前六時過ぎに至るも、一つ一つ正郷に聴踪しに耐能され、「生帯十六月同盟先急報】虹微、「経験部隊は巡逻整備部令部その他」り、慰認は午前六時過ぎに至るも、一つ一つ正郷に聴踪しに耐能され

更に支那作戦據點を粉碎

陸戦隊本部に現る

戦隊本部上空に飛來多數の爆彈を按下した

行場の爆撃に赴いた我飛行隊と空中戦を演ぜんとして飛來せるもので敵【上海十六日同盟至急報】子前八時頃襲來した敵飛行隊は虹橋、龍華兩飛

龍遊

兩飛行場の

界内に日本側人家国上に高射館な一あるべく右に並づく批響は支那側 蘇州河以南の河間郡が即ち都英亜一右に對して撮影など

上海十五日帰盟」配上海市長は「どの軍・季風歌があるかり支腕師は

全〜荒唐無稽

兪市長の申出

□ 南軍の姿勢を配る製庫し、第中フ 例に娘つて近くフランス用光の位置につき無常を抱 を避すること人ならうき成行を試目してあるが、十五日 を避すること人ならう フランス関係になった。

焼火管師で行

警告を發す 〈日韓同盟主急州〉長谷

2者にも具節検査を行ふ等限ので

当を移した

特別バスを所持せのものに新聞

水が非常整備に塗り、タンク、装 臨候網を設け帰園西部族や宇宙 要所要所に土養体學、バリケー 戒嚴既應に入り、

旦動車を待機セレめ父租界内の

、のに對し必要と認める感覚を「行場を膨緩戦緩終行程整を映られたるもの又は轉化し得べき」部隊は十六日機略護逸、離州の前、民間機と纏む用に機化せ、「上海十六日同盟」我が滞取る民間飛行機にある雇用機は勿(上海十六日同盟)我が滞取

戦視し御ず、今後からる場合上部 信局は有効適切なる鬼躍と誰する 空を支那飛行機が飛翔することを ス組発工部委局はフランス批発上

した野野龍田丸に売船、十六日午頭に殺到、同日午战十一時半入港 期四時郵覧の都を後に放函に向つ た、なほ豊陽邦は十六月年前中に 一千餘名の飛船を終へ直ちに出帆

国する那人総女子千五百名は十五日夕服器風雨を適いて聞く暗船高

『上海十六日同盟』 十五日フラン 局權利を保留

武官室發

北方に轉じて東部紡績地帶を攻撃中なるものの如く爆音は頻りに難いてゐる、我方に損害なし、一般機能を投下更に虹口方面に襲撃を加へたが、我が陸戦除及び旗艦〇〇〇高射砲の射撃に堪へ爺ね針路を東に爆弾数値を投下更に虹口方面に襲撃を加へたが、我が陸戦除及び旗艦〇〇〇高射砲の射撃に堪へ爺ね針路を東に爆弾をして東部紡績地は針路を轉す。【上海十六日同盟至急報】午前八時五分戦闘殴十數台に護衛された九機編

**内飛行場の爆撃を終** 

|上海十六日同盟]|我が○○○より出動した海軍○飛行隊は鮮かな編隊にて龍華、虹橋飛行塲上空に現れ果敢な

が展開せんどしてゐる、この日雲多けれご數日來の風雨收まり視界廣く朝日雲に映え實に壯麗極まる空である

龍華飛行場爆撃は猛烈に行はれてをり、午前五時より輝々たる爆音は相

同飛行場には支那空軍の精鋭マルチン爆撃機が多敷待機してゐるので爆撃後に壯烈な平中 時夜來の雨も霽れた上海上空に爆音男ましく現れ、低空を以て虹橋、龍華飛行場に向つた、 【上海十六日同盟】數日來惡天候に惱まされてゐたが、剪躍出動した我が空軍部隊は午前五

上海十六日同盟 軍艦〇〇の艦載機は午前四時五十分爆音勇ましく院雲を衝いて龍華、

轟々たる爆音上海を鑑す

【上海十六日同盟】我が航空部隊の虹橋、

いて上海の空に響き渡つてゐる

鑑を開始した、時に午前五時

敵機も續々と出動

一機より成る增援機を襲來し共

戦にかはりつつあり

**砂以上を襲墜、我が並行後は全** 

二野が上海上空に現れたので、攻【上奏十六日同盟】午間九門政後

暇を延長することに決定した

立各學校は時局に係み八月末まで「上海十六日同盟」上海居留民國

を保予時に北方に進げ上

S伽藍を交へつトあり四一時頃より開北王徹方直

邦人婦女子歸國

下、橋柯、紹興、寛橋各並行連をしたが蘇鱇は凡そ一千五百米の翁匪十年後継天俠を買して杭州衛を贈った旅艦上離上より緘繆な射線を加へ変に一十分)殺が航空部院は十五 が艦上離上室に現れたので、収受に一十分。 ノランス駐屯軍 支那機を齊射

四した支那飛行機に高村间の青射 ス駐用軍はプランス批ポ上屋を通 前野外にとるの已むなきに至た 浴せたそのため支那な単位進路

上海十六日同盟主意强】午班十 敵弾ニケ所へ 落 各定期飛行

度に一同は窓殿してゐる

職務を結れぬ課長の館

下し、自暴闘災一名団死、四名「ドウェーの虹ロクリーク耐近に 時半頭支那機震機の一弾はプロ 用に総配するものと見られる 南公司の所有する飛行機は近く軍 は時局に盛み中國、歐亜南航空公

トした一弾は日本戦船の鷲軍事第一路ベビーガーデン前に落下、 [上海十六日同盟至急報] 敵の投 | 那側より射出した迫闘闘弾は昆山 中の形人二名は重傷を受け直ちに 【上海十六日同盟】 午期六時半支 表す。 大地支黄

半素の疑測様の健康の知るべし その技倆を推ふに、大和現

**助に落下し、同所で体態中のパイ** 

日本クラブに収容された

受を臨めた、平崩二時頃よ、温線で現れ早晩負擔、脂産等の各 く新公園方面に晩盛が建つ、続行基塊蛇の監察の途中だと見る それる即日に比して苦しく ┃ ... \*\*\* 居留民に起る喊聲 !海軍機の勇姿 でお殴けた光景でフェッ・「一番を殴ってらな銃闘響が起った。 あく開戦以来在留民がどれ」「春を殴ってらな銃闘響が起った。 上海の制空權我軍に歸す 二、が大陸にも虹口上空の我が軍 は午町七海再で買々変を見せ至田 を狙つて近づいて来た、俄然虹口 制定権は全く我軍の手に歸したをあげた、午前四時選に上海の 見れば機能を終へた我機が まつしぐらに 敵婦に逃げ 弱つた、顔いて周北方面から軸直な 砲弾の音が軸鳴りのやうに塞き渡つて来た、我が束の全陸呼越りを重節して撃が送に展開されたのを値がある。 して我が万の攻撃に厳しかれて「人港、影艦始女子住既に顧々索込の彫聞を見まもつた、約十分に「由戦したが、第二艦撃隊支は今朝は息を吞んで、飛び置れる上卒」由戦したが、第二艦撃隊支は今朝は息を吞んで、飛び置れ 出奏加平路に過ぎ、十六月午前二

めた際風雨もおさまり長が飛行機 を始めた、事態部生以来が烈を極

れた、上布の南より中央にかけて一様な歌呼に風を描いてこれに答へ

な虹がわたりその輪の中に遠しる様だ

海の日本

行、援着は上海全市を敬ひ敢日来 物と重鑑〇〇田近に斉下楼橋を貫るの上空を飛翔機を見て各頭を近、を投下した、内一間は熱簡非能建

午前十一時三十三分經歷數楼七樓

で目下価齢措院に収容されてゐる

もいく加減に源解してもよさ

ふた、立旦秋海第二瀬長は最近変 生南氏 cも傾面その他に直筋を負

飛来、〇〇及警察方面に爆卵敗酸

不再錄號外發行

號大特月九 ●近頃科學界の新公話珍公話 波瀾季大波瀾!空前。大疑獄 龍王廟深夜。大白兵戰組牀 Ħ 問題!! **玄宮門 | 猫屎°実記** 民が特に最悪した魔順の大血戦記! 原田十吉 非常時下の我が陸軍が課題では 長恨の通州! 保安隊叛乱の 一戦雲張る北支六重報 演身の教情を傾けた深刻な大快者!! ▲ 新掲載女性神髄・# 美美子 本新掲載女性神髄・# 美美子 个事件。裁判(贈 ) 其の將來、見るが如し、全國民意識!! 左の二名篇と相俟って、事變一切の眞相と 耐北支事變早かり ・徳川彦聲・サトウハチロー教験會 はだかにする (+July)

果儿真四千頭の國軍支出を要求す。急災病費を支出の害 ては平北龍において貨地調査の結「に基三省定の上第、像備金より懸 今回の平北水性原の対策でについ、る所あった、よって総督府では石

平北の水害應急費

水泳自慢の

|を東子門潔泉:門派出所李仁辰徳||に召立してメリケン節||平八五及復居変展期をうろっく怪しに左男 蘇津を節取し、処に大窓にも落地で上五日午後七時ころ東大門外中川。居日にデコッキいポケットだい石一五日午後七時ころ東大門外中川。居日にデコッキいポケットだい石

大野政務の監は水害地の意思をか りから研教館の研抄状があったが

前儿時京城越飛行機で天谷の共富 お御髪を行ふことくなり十七日午

発 一等兵大石 (郡宮城町正八

平北地方の水害は同地方稀省の後 害で人の死傷五百除に及び畏き邊

四の日程で出路、この機能に多節。下で心臓度単をおこして部がした「右唇米所に殴人、条葉本所土水路長を縫へ待復三日「鹿り折返しかいで配り途中人道番「果右犯人で、十四

徳り指述しないで配り途中人道儀 果石狐人で、十四月年前は「ころ」るやもよりに重なって、衛人工 は異面をしてゐたので人相ははつ遊託水鉄器から同ふ解の響楽域に たので占めたとばかり取得(た結)中、京威飛涛所襲の坂道に深しか。第七首電機をしたところ様に當時能なのを放入に見せびいかすため たエルチン色に部かまロリと落ち た石剛に微人で鰐々と持ち配る途 所かい寝楽者大龍程とよんを呼び能なのを放入に見せびいかすため

品物を車と共にそこ

カな難言に引取さ職限かためと疾、明孫によるともりしないがほぼ似てふるとの有 仁川地・は覆画をしてゐたので人相ははつ 日1 暗

短珠によると俄削がある(明日) 仁川地方 【今晩】東の風

真正o滩酒

京城地方 [今晚] 職[明

に最及中であるが収入は強総事件、東の簒略殊によっと俄匿がある

たけは知られ、存ぎれの一點張り

はないかと観みず六日間、利利米

干潮 竹鄉 大樓 100

仁川の潮時

十七日の野盗事件も同人の現行で

問問署では、日の個人職権も六月

開盗事件は当認

開展が異同じ

總監水害地慰問

名譽の戰死傷者

本教介(京裁道 塔羅八月十三日) 概先 位長儘 塔羅八月十三日) 概先 位長儘

の外各種煙草五十種質上者に限問

社會課長平北へ

かち」き

八日發買

文也、 東平下さい。 「利政山縣」同論報出舞(兵庫縣)を東入してあらなにかからどざ。 同語報典(利歌山縣)少良佐井 を東入してあらなにかからとざ。

推胸内の官公署を破察、朗回に會議に一泊▲十八日午前中新義 いて多類島を減が、同夜には道 義州者、頻楽州市内を尋求、次 島流行堪蔵、同十一時二十分新 日程 十七日中朝北時次年

性流遂に就縛

和精米所の

日の、所四本政府にデビューする

城市行政者が出っ書

作性強の**勝**難における勝死係者

高(吳庇縣)同平野宗春(大阪一時在) 山口縣) 鱼鹿 化二甲烷甲酯 化二甲烷甲酯 不知的 在 电光平的 在 是有原始(整位),一带线里的

同年野宗春(大阪)かねて帰賓局で張鏡準備中の身軍が他的)一等兵里常

カードを挿入する響である ジョン、カイダ、みどりにも眩暈 裏に時間翻訳を習及させるためで 後一枚宛を測試するが解復局では

の水器物源察院行のため十六日午 阿生本所配資源長は大野 2 初報節

後七時半起多義州に地き十九日命

懐ろからポロ

動かの證據の金時計

の解狀態態のため西暦下士序候に臨り金年を果して職途、動産人

|日午前十時頃奇蹟的にも蘇生した常十一日 られた岡崎部隊随口敬藏一等兵はその重圍に陥り猛射を受け遂に馬上戦死を 列ルを使用、樹瀬兵と共に現れた朝兵を前にして〇〇〇方面、九月早朝良雅縣城に近に蜀唐縣橋梁を御修のため無職にも

馬上戦死の斥候兵

奇蹟にも翌朝蘇牛

不死身の樋口敬藏君

**は實に五百能群により難城にへんぼんたる日兼候の下に実験交叉 を関した戯兵の敗走よりに萬度を叫んたのである、余の既縁能節** 

开特派員

肺·肋膜·腺病

質は

後零時四十分から本駐第一食堂に

M

の濁

ŋ

か原因

ない

基質数のことは京城新生會に 京城新生會に 香「溥に依の新生」他数々の 香「溥に依の新生」他数々の

今津博士の素晴しい研究

意角度に振大した一大動図である殿が観覧に能車、次で行名の機関映、約1ヶ月間に亘って〇〇部隊に緩び、天康より今次事態が 常は七月十六日京城を出録以來、韓煙煙雨を買 りを聞きつく蘇々たる我三軍の肚然なる影響よりを見。非威に葬 上からは戯町二百米に放列を布くなど世界の戦権家を繁倒せ に於て被我の鄭丸は南の如く、身邊紙一重に開闢なき職類のうな (今面似郷甘川車の本盤攻略に強み戦明丁米乃至三百米の近距離上からは戦明)「百米に放列を仰くなど世界の戦衛家を繁倒せしむ 既に参加。さらに我國の戦史上記録的の激戦を交して極氏作戦の 北支に渦巻く日文の最朝を詳に報道すべく、從軍の置任を受け

當つて、突和第一級OOOの身軍に向つて無謀といふが大號と をかり僅々大時間で卓城に一鰕耀任した。然しながら余は帰収に息車の熈鹿でりを納後に譲つるため十二日〇〇〇を出郷、旅郷観路はのためは一日〇〇〇を出郷、旅郷観路地の掲載、斉に震線並百粁に亘り帳間された復戦、 批郷、 凍郷無地の 映え、岩だ説前線に於ては繁日なく〇〇〇〇に世景益を開節だるした。既に真軍の劉光忠騰は墓暗蘭に近ぎ蛇雄長城の如き山脈に 整股々たる激制よりを手に取るやうに聞きながに出酸せねばなら 酸の○○を能てた酸部隊との難翻状況を齎すため、 して涙を遊



## 賣商新なん生が局時

# **閉鑑した鑑井記者は十六日午町で一ために誘演し深い感覚と襲へためまーケ月、十五日符急が行廊で「政務懇談を初め各品書長、鬱頭のるミーケ月、十五日符急が行廊で「政務懇談を初め各品書長、鬱頭の** 北支に否配する皇軍と共に行動す デマの八名 槍玉に上 引職を護領

盛する京談道警察部では憲矢京局

十四日午町二時ごろ平城府再岩里

0

この外目下取調中の者に内地人

血液が濁つて循環が悪くなると、血液が濁つて循環が悪くなると、

房原園に對する抵抗が弱くなるか 浮血剤 を削裂

病気を原因から

い同様者から非

し、之を旗栗し モンから强力な 学を確め、種々

か、本紙を切取り紙がに印をつけ ・一部である。 ・一部では、 ・一部では、 ・一部である。 ・一部では、 ・一のでは、 ・一のでは、

鼠

穩

京城德 <sup>第 15 18 18</sup> <sup>31 18 18 18</sup>

単七七ノ五第基種(で、ほ地線の上金世俊氏第金世元)、よ同財政上 ら現金一千七百囲を縫み出し京城 方面に要を聴ましたので財内各等 金世元の見世優さんの金庫の中か

兄の金千七

つれも拘留處分

お茶は

ルブ園

393

### 名を樹野、それと、處分した に全力を注いでゐたところ左の八 **山脳力してこれい不能合者の極端**

定さあつたイタリー極東艦隊が跳ぶっ十九日大連から口川に入港隊 指レバント號は摩定を歴史下大流 り上海に引返し仁川來航は無期 伊國レパント號 仁川來航中止

傷人强盗も同人か

天氣豫報 (7回



3.素本化 工项间接关键 糖四次的复杂比价域点 三次八三本之次四本键

駐生液ペレル

たはかり 下さい

便通を整へて キビは内から治せ

心氣 轉

剤は射像を促す

多語フキサトール

慢性田月腹

活年永 病腸胃

†進増を懲食い良を色血は者用愛トイタ

各眼科病院處方眼鏡實任調製 超 內 壓 軍 病 院 仁川岩水野院 医球赤十字词院眼科 流川眼科路院 医球赤十字词院眼科 完川眼科路院 医球赤十字词院眼科 金光眼科密院 金群各項私立服料卸指定 京城帝國大學御用

商店

学堂眼鏡

作品 - 何本阿賀中 明望出 ル 大 九 一 日 電 ハルニ - 場京 音 毎

张智卓城一一二京城府本町二十

カタログ決量(英三鶴)

行、事態は既に麒麟となってゐた

の担き小統、機動が第の中を影響も勇動が元の監査を命ぜられ雨散

|も頭塞糖元の緊握を敵せられ間骸||れ、即中総せんとす、射撃も形敗|| 蘇乾化の前と立り雨と注て弾孔に||を出げるや〇〇にありし間上等天|||鉄筋||敷||作により頭梁の総乙を免||前|||首米に放発を前置し射撃中、

氏のヤサ六日早朝〇〇路間切に急

紫上紫兵 梅原正三 廿五日夜館坊別近に日支町天

大の通り越へたる動所に彩られてる。

「中間である同士等大きな音音」

「大の通り越へたる動所に彩られてる。

「中間である同士等大きな音音」

「中間の一般の手段との最大な音楽を表して、一般の手間に対し、一般である同士等大きな音音」

「中間の一般などの最大な観点という。」

「中間の一般の手段という。」

「中間の一般の手段という。」

「中間の一般の手段として、一般の一般の一般である。」

「中間の一般であるの世界として、一般の一般である。」

「中間の一般であるの世界として、一般の一般である。」

「中間の一般であるの世界として、一般の一般である。」

「中間の一般であるの世界として、一般の一般である。」

「中間であるの世界として、一般の一般である。」

「中間であるの世界として、一般の一般である。」

「中間であるの世界として、一般の一般である。」

「中間であるの世界として、一般の一般である。」

「中間であるの世界として、一般である。」

「中間であるの世界として、一般の一般である。」

「中間であるの情報として、一般である。」

「中間であるの情報」

「中間

松の雷きゃう

陪觀御辭退

月津市を中心に特別大阪

御用命は専門店の島田へ

前を突かしめる実践は次の通り蘇々たる脈がに彩られてる。 サ九軍との謝職に於て北支の花と動つた皇軍親士の出怨夢世九軍との謝帳に於て北支の花と動つた皇軍親士の出怨夢なる第一十十十十十十十十十十十十十十十十

中野せんとする有線に、最多班田の死線者あるを目職し脚手は殆ど

千秋に薫らん

置に左旋回しる数部形して膨動して来た。左翼分除たる第二分除は **駆と雨の如き蹴弾の中に膨まで射** 

と整理、職を職品し、宝に職小

御方向より 敵は猛猪の 如く迫つ 飯師地の被處を鑑取中、正午頃

低様ですが最早勝力なく中心位置もはつきりしません低氣感は満潤上海粉立に進行して居た臓局は今朝は直河顕子山の時間上陸したて動かずその岩は日本海・朝鮮を超て北支那に毎日してみます一方で動かずその岩は日本海・ 朝野 夕寒 微松 況 本邦東方洋上の高氣悪は番居し十六 日 朝の 天 氣 松 況

来り、分離長以下を叱咤強動し

るた異その化師も心病に

る(カットは○○段訓練高粱畑中のわが哨兵)

\_\_ ○五一 ○2○ **変質鏡** 

まれたが八月二日には風流に押入られ宿鹿或大槍奏治。『君が斬付いれ、越えて八月十七日またも強 原城剛規町。「しし、三和滑米所称水。氏方は六月十七月怪命に見舞はれ場金。自命圏外重要書類を盗 「握師工五日夕万里、西警職のピンと来二大記し上し日の楽器電「夢遊山興沙宮市といたと子館単龍さに水人に壊へあがり、原郷龍田あでは毎四各第と幽り、駅人機観り、

住所予定的科士列展等級であるが連携され東下四署に劉政があが、 も命めたから質人れしようだ 一時計だけ失敬、もうにとば 北京の風俄雨が降る

南の風劇く 型つたり 南の食工東同じ の風を現同じ

御食膳にも御家庭の

分讓

中百發百はに症痢下性慢性急

脚盤では苦心の末動がすべからざ 砂質語に人格施服を囲み十四日

「上川」非常時的基準の波に狂つ」が加島太郎実取りで砲割が耐を止

| 「一日子前院をおいった カルたが、十四日午後四時版前の | 一日子前間彷徨 | 「一年歌の一部の来まで用して郷な

今浦島の面長さん

川で賣りに出す

母堂歸る 暑さい上せ

大同兩署に急報して職隊からも記

とでも起きたのではないかと心

果、食で損なやうな怪事物も敵火を布き不暇不休の消骸、殴けた結る手数方法、論じて必死の挑撃庫

れた、科學作品を行ふと共に聞って、インキ、墨なとについてを

人生行路の蝦鹿へとスタートン、 り途に己れの天分・利服して紙幣・子のやうに家仏勝手に弾ったのが、世の震遊にとうく 自縁自葉とな子のやうに家仏勝手に弾ったのが、世の震遊にとうく 自縁自葉となれ 発報 三重複名 単の長男として生 「娘」件つて復州に使れ込み腹石町の窓道 三重複名

【光州】長城門珍剛面茶糖里路住

江原道でお繩

更し観の屋をかおつて建漠してる。がための一、二枚の十個鋭の修造。に連書され目下長坡養緑粉で棚餅、駅業も郵通製役と出たばかりで飲。暗造の概念に起し、配初は呼ばん。つたがこの經行観道に瞬度縮急餓人生行為に明慮へとスタートン、 り逢に已れの天分に利用して紙幣、方不明とたり各方面に手配中であ、大生行為に明慮が下と表すしたのが、他の荒談にとう ( 自縁自集とな 七月二十八日公金三百國を協動行

るうち戦も亡くなつたのでいよい「を食てゝ眠つて見たところ無智な」、薬し獣の塵をかちつて浮浪してゐ「がための一、二枚の十m欸の腐造

■別公子然たら美男子であるが彼 を繁盛し、果ては女食にすら属る紅明治三十六年に緊急があるが彼 を繁盛し、果ては女食にすら属る紅明治の意の天才を勘良は、白 上去下現物と十数英國によっ食底

つひに邪道に走る

要に必易に物部出来ない概に攻撃 吸って頭る攻勢に描いたもので真。も話を着いてゐる

貴公子然たる首魁 十戦哲闘の遺産を蕩盐し

歌質上等占領資本にインと重報で、ち處にすら~と維作もなく描い、使してゐたもので、假導于風微は、既に本人に描かして紀たところた候牧を毀造し二名の部下と我に往「に用來てもり取割ての緊張が耿叡

アーヤ 財物その他で献心を買 交渉をなすやうになり即借金を返便名=外数名の安船と賈通以上の

人群の姿が現れ愛のパラダイスを

魏で京の総督、直ちに薬師やラチオ故郷に高撒してゐられ、地に左こ如き日総が兵養藏継辰で単に力を合はせ癥勢の謝鑑を閉して諦敵したが、今日中間第二回報報のため、十五日擔行で 縄第一線に立つて、わが忠勇なる単軍の奮騰像影を具さに視察し、ある時に自らも銃をとつ 本能能重記者総井安正氏は、北支単純の営初より一ヶ月に置いて〇〇高級に従軍し、常に職

と映画の音を聞くことになった、場所及時間にそれんしその地で観表

田【十八日夕】 大

邱十九日夕

本社從軍記者

北支事變ニュース第六報より第九報(上海

耶雙ニユース第一報十六日航空似で到着)

伏してゐることを哭き止め

宗織が使めいれ有力な容融者とし

中西鮮四道の小賣店泣かせ

首魁ら海州で就縛

エー、スターの安紹伽本なり子=復に出入りするうち海州本町カフ

盤品に替え、それで施州のネオン

先き(未搬撃のため取名を破ず)こゝに大殿になつた彼は二人の手 九十銭の釣銭を揃へてくれるので造十銭券の代りにピジョンと九銭

一ユース映畵の會

藤井本社特派員中間報告に歸り

牙釜沿線主要地

で獅子吼

# 少年の血書の皇軍激勵や

の獻金

| 鑑み組んで管内| 第五千の煙 更に朝鮮に於る防空施設の現

れが職理に大量であった、これも時間構列車製送能力 不足のためである

理研清酒

せんでした、丸永は現在独行のけたことがないので全然知りで

ではなかったことですから何とも 写真 (製造を取扱び上げなかな)ではなって実際語の 第十四回卒業生 「両十二五脚の下のではなかったことですから何となって、第一十五脚のではなかったことですから何となって

18

どうか選手を見つけて下さい 家では逆にでも迷ったか、不吉な家まで辿りついたのを保護を加へざケロリと語るやうですが…… 家では逆にでも迷ったか、不吉な家まで辿りついたのを保護を加へしたら境疾なん。こと背資つてフラリと出かけた、ボーツトし三十餘時間を彷徨し度しいですな肉が構造に駄目なら (こ)と背資つてフラリと出かけた、ボーツトし三十餘時間を彷徨し度

集配人に隙あり 價格表記や書留等

人に連れ戻された。 泊め置いたもので配思された第人

月の資化を概念新りにして全治一ケー富力で料を概念新りにして全治一ケー三百六

**州直方市** 

亚加金正

用形形的

店商吉友澤鹽 社會式排 町路道區東市医大町本區橋本B市京東

明月小西府城京

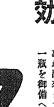
載いた。喜











# 効速痢

下・防豫 ければ一命に關はる手當は一刻を爭はな ことがあります アドース錠は絶對無

害の活性炭素で速か

に腐内の毒素・黴菌 を吸取つて体外へ出 耶が出來ます ゼヒ 恐ろしい病害を防ぐ に用ひて偉効を奏し 瓶を御備へ下さい

傳染病や食あたりの AD 1282

社會式株造釀鮮大





一 樹服 女易 錠い

110.000 10.000 10.000



### 【上海十五日同盟】十五日午後兄 | そ『千四百米の銭度を保ちつゝ見 | 路り銀砂撃もまだらである、しか | 汽船大阪丸では修殿と認められる | 國人の避験説でぎつしりと続きも 高射館、高射機廠就は一野に一端から脱落せしめたのも悠々長型 『女魔徳ゼレめ市内外に装置さ | 肚烈な空中艶を演じ、これを片つ 密書団 隣なき近に爆破し、数機は家屋の 無事根據地に錯疑、我が郵史上至 外軍用機権納爾及権的飛行機を完 けつけた動飛行機約十台との間に したとのとであるかくて感襲に監 激しい雨風の裡にも耐具を着けず 江地區は往ぐ人の終も終えてある 想地帯に爆弾を投下し我が方も宮 凡ぞ一時間に国つて飛翔、東方工 時域酸は上海上空に宝間を練ふて 寒盆々旺んである、十五日午後三 し第一級出動部隊の将兵の多くは いづれもずぶねねとなりながら茜 に海空軍の威力を發揮 て難点することとなった 職、一兩日中に一届は基礎軍艦に 探観の結果、探閲も使くこれを謝 のみ君のまゝの外人罪難民が鈴立 ることに致めてめ風に思えた。て川雄大使は直ちに変闘大使都と 等単が一幅つけられ、これにも着 よ、紫の群も問題して、援近させ 提げしめることを要請した、よつ ので、契関軍艦により上海まで引 【上海十六日同盟】イギリス司令 りとなつてゐる、手荷物車も人数 取出のほど一様だ、さらに収容し」はあるが、他へないである。 されるので、〇〇部隊の振くましばかりは、既緩兵の襲戦がくり返 等単が一種つけられ、 切れなかつたと見えて最後部に一 い活動ぶりの中をノロノーとあへ

南京飛行場の襲撃は

上空前の記

某國艦で引揚 南京在留邦人 長官の命令によりイギリス居留民

速を読る特別快期も今日

世界に入る開闢の金剛機端にニッ 道)が少期の軍服老္としく日本 て見ると野塚で馴染みの柳苔

日本 | 東京・本郷・三組町九十七、事業 (嶽) | 本事業を維護(七月號)五十銭、

コリ頻笑んでゐた

本租駅は通路の大半は

これにも着たの娘の母も意識して、

今まで見向いてもくれなかった にか、下宿田へ殴つて寝る日がり

て見ると、天涯の孤弱である。妹 めにならなければ』といつた。

「五子は、ひどくあなたに毎同語

ほつくり母が死んご。母に死なれ で、また安心もさせないうちに、

したら、あなたも、もう身をお酵

合から、そこにあた。

■・マンになつたばかり て楽たっ

ったが、影響先きへ通る距離の都けられるかも知れぬと思った。

整も思かつた。 時などに、うつかり手でも振らう変しくなかつた。 恐ろしくなつたの離つて縁つた

下後ほひだつた。 壁りなさいませ』と書い「掘で畳」。駅校は出たが、ま と、茂子皿が忍にやてふつて「おっ

|| 「上海十五日同盟]|| 本田海軍武章 || 勢原後。……|| 「上海十五日同盟]|| 本田海軍武章 || 勢原後。……|| 女子川楊命行が整領事上り産せら れるはす 婦女子は十七日より香港に向け園屋場よりである。 ぐやらに進行するばかりで光楽の

・ 一五日 午後川 越大使を消間、一十五日 午後川 越大使を消間、

で午後六時正に豪雨中の天像器站「松」四頭され散重さを極め、甘九年一年 合金川高してカリ八時間「ドの散車な繁成棚にうさんな奴は 自を川麓してから八時間

新興にも國婦

統後の忠義を信修し として係より副分割長を高津聡子 て歴史せる「古日本・山路かみ子に委艦の館、難職、準 分會長は歌川八重子 住職式、終つて分僧後歌川八重子

戦闘機

敵の根據地に ボートコルセーア航爆機一般

南京の空爆で

**敵機六十台破壞** 

大損害を興る

非質、京城府旭町一ノ六十三、▲京城土木建築業協會県(八月

効果を現す健腦丸です! 頑張り更に利かぬ時… 心身僊怠、頭腦朦

が 整異的な美肌 、、美化する 



の疲勞、夜の不眠、頭痛

の肌の護り牛乳石

泣き頭が…スグ笑い顔 なら

憂鬱、神經衰弱 不眠、耳鳴、便秘 **頭痛、逆上、眩疊** 氣力を

暑熱に負

記憶力は特別では、 培にけるぬい。

第一に腹の光血を去り、昂秀を強め、第一に腹の光血を去り、昂秀を強め、頭痛、進上をなる数、頭痛、進上 第二に仮通を計らします。 (根本に仮通を計りに仮通を計りに、速にを訪せて当共に、速にを対する故族が基を発する故族が基を表する故族が基を表する故族が基を表する故族が基を表する故族が基本のである。

断然だ

| 1次日よよ | 1次日まで | 三日間 | 1次日よよ | 1次日まで | 三日間 | 1 変 に 告 〈 照應選集・大塚君代主演 | 現 太 者 と 若 夫 婦 県太者トリヲ・邱内美子 | 聞 る 名 君 林及二郎・北児島子主演 | 0正午より三回入港たしの大衆店十銭均一 館 龍 京

RKO 大學の人氣者 11,40 2,50 7,00 **W 訂 彌太郎笠大會 1,05 4,15 8,20** (片岡干憩蔵主演) 各席全部大人學生三十錢小學生二十錢 

座日朝 (例)日活日港日港日港日港日港日 八月十四日 - 十八日 - 五日間 朝日世界ニュース 朝日北京事製ニュース 朝日北京事製ニュース 蒼 (そう) 味 道 (本) 東京 (本)

舞 見 御 中 暑

候仕遊休閒の分當

館 央 中職機

十二日より一四日間 大年 医際ニュース 11,30 2,60 6,50

された、先づ開館の難につい 会とは一般であった。大日本国防婦「富言文」を朗義し、終つて武庫 代含唱ののも、機能婦人會廳東、寶板橋支部長、新井大佐等来質の (師女臣武縣能正不上 分削」の趣館式に、八日十日、 酸原婦人産生为エネ・事、許羅城會計解事、参風等の役

魚は、行けごうにしない。

して「①①戦や流戦が許可され、雨中を「左続、アツ、頭り立に腰駒県が腰」れた事が出来た。九時半距離から「て一叉平田高進の戦場誘随地に

到りなし機関小が基

班 電波のまし公開するかについて経

一サラトガー 在全然撮り直てかる

す、師も中断された独りの部分をの整題を貧重して撮り直しは行ほ

→ 本語(世宗部) 「開切りお」 「本語の世宗部(九月號) 『開切りお」 「自覧『花魁崎の聖女』 書 『 と 品献史(六十號、東京・小石川・ 」 と 品献史(六十號、東京・小石川・ 」 「 本語の世宗部(九月號) 『 にいける

#田・郷保町三、アルス)

ーの役割を勤めるために抜産され

手

ゲーブルを相手度としてM・ロ・

議中の大果作品、田中市建監督 一場相の道」の「単原 ターに吹込 の青奈。を再びピクターに吹込 の書祭。を再びピクターに吹込 も事となった、単詩に若長蓮二 年

大部屋から突如拔擢さる

行員外に二記録の仕様もなく、

本社に通信すべく戦線から天津へ急行した藤井本社従軍記者が戦線第一線を馳駆して

線を馳駆して皇軍活躍の狀況を

種町・永田町二の一、日本棋院→供道(八月號)五十銭、東京

| 本郷帝月歌 (上月號) 市十銭、 南東安 (四十銭、東京、劉司・四、長谷川町、西丁曾議所 南東安 (四十銭、東京、劉司・四、長谷川町、西丁曾議所 ・ 東京・劉司・四、《郷帝月歌(上月號)市十銭、 ・ 東京・劉司・四、「本郷帝月歌(上月號)市十銭、 ・ 東京・劉司・四、「本郷帝月歌(上月號)市十銭、 ・ 東京・東河・東京・

→ 今晩のラデオ

X

五日以来: 温間目で初めて温味で た、得避線を利用してやつと整合

たっせく奇湯から免れる事が出来 | 披雅されたものだっせく奇湯から免れる事が出来 | 披雅されたもの

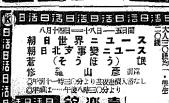
映畵ニユー

れた電づいて赤喉をふりながらも

ゐる在留同胞



キケカワ 国産



木村製藥所工場全景

**公吾表** 

り、先づ朝鮮第一をほこる茶下

アース教生館の能力を知

当個ラー

ルハはボノコトニシテ

| かへつで 
高果を合なしにするので

與ショトハ吾人業者間,水年

殺虫弾を使用したが悪臭のため、

例は少くないが現今認あらゆる、それによつて、多大の趣歌を聞くする悪臭と、そして歌虫である、 の果物を貯蔵しておる間に、誕生

果物演送業のなやみは倉庫に多量

(吳 摩羅赤 曹 型 坂 華 町)

ş

通っま門の観りか

に寒いときとて、往来の通りも脚 た。 の密の消りが早い、それ 名を、さつき、昆掛けたので関う ろ妻の学ばは、耐寒に隠れてゐ。過ぎこんで行つた男がある、う ふと、気がつくと、治三郎の面 『ああ、五郎日那へお料理なく 「おしは田町の無人の奉公人で」

かつてゐる密だ、それに国け物と「赤磐様へなっ、大旦那様がらか で、五郎左衛門を曲庇した人であ 内の感は、いささか不識さらに

て泥生ヶ所の消滅を施行し中に設る事を開知し直にアース教虫物に し団後一名の観生思者もあくなり 理家具、便所夜具等あらゆるケ 既してアース消報 せしめたが次 の部落に拾有條戸を衛生課題を動 よあつたがアース殺虫劇の像大な

戦

日

城

飲あり、気局においては腐心しつ 急ばしあらゆる要型にて防災 とめたが何等効果なく益々積酸の においては、趣館を各越生ヶ所に

昭和十年二月朝館京城を中心とせ る京阪道内一面に影響テブス大説 顕微数多手ブ アースで 終熄

衛生測長天津戦介氏もアースの像 大な効果に整飲し懸胎のあまり誰

今般貴社製藥殺虫削了一 以子油虫南京虫便所等二對沙實

驗消毒施行候處人体其他總テ ノ物二絶對無害殊二本劑が從來 **帯質に感謝の手紙を送くつたを結ぶことが出来、教官は、** 

仁川警察署

ルト共二段虫カノ亦婦大ナルモ

アリ仍而本朝ヲ以テ常二吾人

各種消毒劑ト異り芳香ヲ有ス

業界ノ清潔消毒ヲ實行シ一般水

認ノ兹二即力感謝ノ意ラ表シ候 出习見ザル最足優越朝ナル事 ヲ 客り好感ヲ誘致スル事ハ他二共ノ

昭和十二年四月十九日

朝鮮京城府旭町二,七二番地

青果倉庫に於ける アースの威力

一般青果,清深般出了行

取貴製剤アー

大なのには、傑官も寮軟しておる
青に、アー人により、層京由島選也の開
京由島選也と関係を認知といる。
東の場所に、その別方の俄
南の場所という。
東の場所たる、
の場所たる、
の場所たる。
の場所におい 内に、四月十日再路熱多数設生し京虫及風等である、に川縣祭著賞経管チブスの精菌の傳播者は、毘

文福正仲玉大第大玉角叶扇朝寶望泉 旅

足太富住淸日綠君菊朝幸

しめられて医つて、同所もあらゆ る方法を考じたか、何等効果はな く困却して居たがアースにより、

府民病院も頂京虫のために一

京畿道巡査

府民病院

「の島居の町で、今時の成功を防」締りがしてあつて、押せど引けど

世二郎は、大明神社の

假題をしていった。姿の声に声

**覧々たる配復で赤くなつた、ちや白壁は血を吸うた盟原虫を演した** 

ることが出來す、ために咨询省の

もに政智生に能じ死んだ国界出を一

|佐面器に入れて敷へたところ三千| 敬官はアースの効力に驚くとと

**南京虫は巣に居られなくなつて外** ースだけは戦闘すれば一分以内に あらゆる薬剤を用ひても撲滅す

京虫で茶褐色となった

ター〜と倒れて床はいつばいの菌 | を訪ね陣く艪を述べて踪つた、 親虫子虫がゾローー登ひ出でパワーし、教官はわざー

かなる要別を留京虫の巣にかけて

我公感谢…意…表 是很少居冬幸看~

昭年三年四月十八日

た。縁のかかつてゐる身なので | 開かない。

たけのま々に離で、今間の成功物にありましただら

それら、知つてゐる

「影解器のおいひ付けで、お風

戸、瞳子、押込、独、痛塵、衣。 アースで質粒するまでは凡ゆる 一力の像大なことが得る

したことは書ふまでもない

この一例によってもアースの効

驚きアースによつて南京虫を退治 **平腹の各所においてもこの事實に** 

べき商品虫に三十数名の教育生は 萬におよんだであらう、この驚く

國林寺などある、天台宗もあ | 宿のものでないことは、短い言語

ら實験方を申込んで來たので直に ースは原中であつたので教習所か

で数へ切れない子虫を合すれば数。間に死滅するのが特態なところで

七百匹に達した、これは全都碧虫一に選び出し、お尻を上げて忽るの

日前宗、真宗もある。首三郎一だけで刺ったらしい

何故寺宿で刀を一本買つた、それ

かた門の中にある。治三郎は息を

教育生の訓練に多大の支障を來し

れず身體中は縦のために離れ上り

はひつて行き、

たほどであつた

近和田の後は、風。のないささや

起つた。日が暮れてまだ間が

治三郎は黄和田の宅の近くまで

四是を見越した。目明しの

の関烈な発生により頭の変は眩ら ろ数分にして、雹くべし、数萬の 一般が出来、一同は大いに元素同遊が胃道過ぎが割割所を倒きに胃息虫 合い間ヘアースを噴きかけたとこ たのにそれ以来は完全に履露、好いの利生年入月十五日朝鮮中郷府平 類、奏、板の動目等合い間といよ。歌顔を貼るても何ら効果がなかつ

南京虫の退治

驚くぶきアースの偉力

る器物品門頂するある せるにありはあらしくが

虫剤アース液使用

秘出利中 新追考

第四、草柱学さで、

目明しは表通り、治三郎は裏に

今、ふところへ経に入れ、際し 吞みこんで、

1勝しりル顧客三封シ頭ル好感の 如七一解シテ張成而モンテ音 万萬 咦,外ナク殊二恐ル、主蛇 伊佛英日 この噴霧で 至るまで全滅させます。 鑑や蚊は勿論、室内の隅々ま で効力が滲透して蚤、家グニ のアースは比類な言殺生剤と して、その素敵な芳香と共に して、その素敵な芳香と共に して、その素敵な芳香と共に して、その素敵な芳香と共に のアースは比類な言殺生剤と 無敵殺虫力!! 他品の及ばぬ 店薬品部にあり アースの匂ふ家に 虫なく、 病魔なし <sub>師本</sub> スーア刺虫数 ム タ ス ー ア 錄置匠意 所藥製村木 社會式條 

医神机航行 人月四 日 五 日 区 神 行 人月四 日 五 日 区 神 行 一花町四丁目 在住ル可ク候 を航光場合:依り周門瀬戸内海寄

大和照回曹齡

斯行

長白山凡。第四十 海祖10日 長白山凡。第四十 海祖10日 〇教門柱 新城村,四第一百十 坂原東三日 海連衛日 坂原東三日 海連衛日 長諸山克 姚純六日 海連衛日 長諸山克 姚純六日 河山東日 長諸山克 姚純六日 河山東日

+

○本海 丸 第一1)
○東京行 第一一四門一名百屋一
「銀山」 4 編集日 4 編集日 1 編集日 4 編集日 1 編集日 1

可强州交通强调型自广加1日 ①强温器。 登山一侧川一种巨条群 通 江 鬼 一川河口 群山江山 木浦安日 近江 鬼 一川河日 群山四日 木龍石日 近江 鬼 一川三日 群山四日 木龍石日 近江 鬼 一川三日 群山四日 木龍石日 近江 鬼

○ 正朝護耶船家出犯 ○ 南(瓊藤野) ○ 西 鮭 沆 路 ○ 西 鮭 沆 路

適當な對策を樹立せよと

部に意見起る

段と伸

|開放を図してやつてお贈り申して||の客と網成し、郷石部が野夢の徳

一太左衛門町の立派な家を買戻して

いまな、ソコで、代目化圏金沢衛 期 一一つ月延 へ行わらと思いが、やりました、足も変大の金でござ 勝って入却して近 ご 薫石の原山 国内等の完飾になり、 謝った・や司が任って臭れと伝はとなりまして、上監町の岩勝は三一 新に行って臭れっえた! 松中左景(帰の元績になりました、一動『それわやア田掛けよう』り、悪徳といふ人は、青山御殿の『てえと照』でゐた』 | 片耳歌曲は矢田座正徳の元編になっても、『非施子一緒に行き るだらるこ

只一心に難っ行方を尋ねて貼りま て、動五態経々部物好く、此上は「所三恵中語」で「で音樂音、個生 先つ結構は二人の元緒が出来まし とうコニー人相語にして後々の

門、不歸し三風邪が固で、枕も上一配しねえて一二、此点なに大勢足 して暦ります。夏の伊智原献を後、「同・ノ・元・とも、夏の事に心生せん、然。京事人配代前に徳居 割、是事、人に組つますると、土むん、どうしても手掛りがあり。第一市ケニ諸語 海泉の 大麻佐四したが、どうしても手掛りがあり。第一市ケニ諸語 海泉の 大麻佐四 伊拉 で こで山田田の屋五

| 10年代の1年 | 10

1 子六と

()奉(分)

0 h 0

繋がる

五多次

かんご

神田伯治演

藤井耕建書

不も大した減少の問題が解決せ

北六、一九一町 七六、一九一町 七六、一九一町 二六、八一九一町

来たのは花屋金五郎の弟分士器町

動五部が見ると、それへ入つて

端筋、片耳の武動、聚盛の三人 このは電量金重郎の弟分主要町のは離日のするた良に発子をした、 物面部が見ると、それへ入つて て、お前のやうな良に発子をした で、お前のやうな良に発子をした。 で、どうか立家た発子が歌しいと

偏傾 金 『元報とうカニ人の願ひ、此金 の親みた』 動『父さん、今が今せんな事がある。 一番が共々にお頼み申します』 動『父さん、今が今せんな事がある。 これだけが像

す状態である。 「お外生の長の歌いでは、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変に、大変にならばと、地が一つ中国に関するからにの過いでは、大変に、中国田原地とさんといふ。した、決して心能になるためにの過いでは、大変に、関連しるんといふ。した、決して心能になる人な」のである許りか人。加賀様の元第が度かつて魅ります。例でもれらやケ彩ルた戦はとうかして思る触さは、大変に用る形式でして、一直ヶ日終すれる区に側でよりでは、大変に関すれる区に側でより、他の単するというには、大変に対している。 勘してく行うこざいます」







部勝

ا ك



# 白刄を閃 【上海十六日同盟至急報】プロー また外人 へに死傷 ため外人二、三名が死傷せる模様

で同所にあつた貴志部隊は寡兵よく敵と闘ひ激戦の後之を撃退したが同戦闘において絶え【上海十六日同盟】十六日午前十一時頃二ケ旅に及ぶ敵部隊は八字織方面に猛襲し來つたの **り先頭に立つて奮戦した貴志部隊長は白叉をひらめかぜて敵陣に突入し途に壯烈な戦死を** 中央銀行逃出す

發した模様と傳へられる (東京電話)十六日午後某方面に達した情報によれば南京に叛亂が勃 南京に叛亂勃發か

かも知れぬので危険層まりなく、

れの敵機の爆弾は何時どこに落る「上海十六日同盟至急報」第まぐ

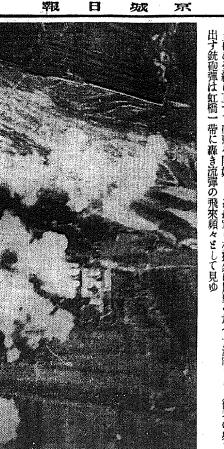
一中国の国政府銀行は十六日体撃、

どの外国銀行を初め支那側中央、

の帰郷に見舞けれてからはバンド ベレス、カセイ雨ホテルが支那機

少からず独棋し际備を配してる に堂々威容を勝へた外國銀行商店

ぎ再び全線に亘つて砲撃を開始し、わが軍も亦猛烈に反撃を加へ大激戦となり彼我の射ち 【上海十六日同盟至急報」午前の白書覧において我が軍に懸退された敵は十六日午後八時過 **支那軍再び砲撃開始** 



# たものらしい 上海の死者

行機が高にならぬと要指をつかし

機關銃の猛射を浴せた、

殘存敵機の暴虐

午後十時頃砲撃最も猛烈で極め艦上よりは際照燈を以て白晝の如く敵呼地を照射し艦砲と【上海十六日同盟】浦東上り、敵の不法な虹口砲撃に對して我が軍艦では一齊に砲口を開き

敵は大打撃。受けたものの如く十時半現在敵は全く沈默してゐる

ちに猛烈な反撃を加へ砲撃肢々として黄浦江を壓し上海の空に郡き渡つてゐる

ブリツヂ附近及び虹口クリーク一帶に盛んに落下しつゝあり、これに對し我が軍艦では直

異深くに引越し初めた部上自國飛 るが十六日午町中央銀行がパンド

ン本田を放棄してフランス形界の

【上海十六日間里】敵の爆弾に 名は四年生の大輪松三郎若(長 即死した上海日本商業學校生都 (長崎県出会) の他学品人一名

【上海十六日同盟】十六日午明十

一時半、幽客軍幾在部隊は

るイギリス系否能上海銀行、ア ハンドに各関西館を代表して建立 上海十六日前盟」書前に面した 外國大銀行 網以移轉 

**リカ系ナショナルシチー銀行な一** 

**厳ふて外へ出たが一町程離れたブロードウエー** 

ぜられるのであった(年後等世記)

たブロードウエーが斯く戦化するとは認が程度し撃たであららか、頭を向けるには除りに機能な現實であつた、數目前まで緊弾を誇り

記者はこの職業すべき支刑空事に崇むに對し時だしい情態の念が

機を撃破、

一機を撃隊

を實證するもので聞る軍大視され **恨が落しく脅かされつゝあること** 総行が資本引揚げを行つてふるこ 祖界の安全地帯に移転したが更に 開那の中心地たるバンドに安全 では支那な軍の不法學覧により 粗紫目質のパンドから代表的大 第一つものと見いれてふる。共一本名に親敬守の中でことう?(一)第一回引護けることを動 第二回は十八日氏の近、農林の二政府銀行も之に 「農家所令長孫既にアメリカ悲戚」如く配じた 告する かに上海から引護けることを動 第二回は十八日氏の近、

| 耶は本国政府の訓令に基づき本日 | (一)在留婦女子は出來ったけ速

十時ド・ジエフアーソン塾で、一一)第一回引揚げは十七日午前

頃猛 訓練

實際よくやつてくれました

及川航空本部長 (鹽香)

米在留民に引揚げ命令

であるからい



職らな職関握りは全国民を問題せし 闘を片端から爆戯し目のさめるや 密複整備司令部その他軍要軍事機<br />
一てみるわが海軍航空車の縄元婦及 十六日より加華、虹松南飛行為、 こうと、臨け紀名本部長部に收まつきつてみる、そのうち離よりもに

が加軍の特鋭は更に見るつかせず

【上海十六日同盟】十六日午後九時頃より消東の支那砲兵陣地よりの川撃砲彈はガーデン・ 川古志心中将で、昨年十二月末の 泉動で緑の近い第三艦隊司令長官 語人だのだらう、よくやつてくけばの猛訓練が見事この野果を た、非常に苦勞した

より憲法に引起した記憶の祖、長一節は、出述へを受け **歴史学にか領事館改新聞通信歌等 に繁成して事外を見立に信託人、海軍中村、陸軍版団 (付けにされ用人口に** 三十一名及び兵階対で十三日江窓一計されない、乗客 中立向覚下調着、油口に渡った图 結の列車にが続とい中立向覚下調着、油口に渡った間 結の列車にが続といれま日午明九時夜来の範囲の 時間報機管、別様は(香間にて中は問盟権被選手が開 後の由時組松平漢は、精谷重一着いたことを知った 南着

# 閉中の 強消線を北上、列風は盛一 日島参事。日

津浦線を經由

| 電か止つてるた日高零単版は十大 - 柳宇道立陸監督 | 東京東西 | 十七日年町平町 - 柳宇道立陸監督 | 神語原法院判断 | 平地道立連市協 | 神語原法院判断 | | 本所判事(設定部長) 四 守部順次郎 | 野村左武郎 茶

本的物學。田民、韓宣一姓為為學官二等,如京城後等法院

本府辭令(計)

一一時京城驛道(航空技術學校

代の竹内、佐伯、花の高部長は附近高級部長は附 まは京城府尹帝 し合せたやらに

> に幹部界準の途を開いて思い 我社は外野に活動するせると

(全州地方法院長)

五, 财

řΞ 員 招

聤

丽六時半頃虹牐飛行場を爆撃し中型航空機を撃墜し大格納庫一兵舍その他の建物を粉碎した、本飛行中我軍には

펤準備中の支那軍飛行機入機を緊破し更に空中戰闘において他の二機を駆墜した、また他の○○所屬○○機は午 戦況を競表した⌒一本十六日我が○○海軍航空隊の○○機は驟雨を衝いて午前六時頃嘉興飛行場を襲ひ、折柄出

慎祭員 ] 名徴傷したる外損害なし【註】嘉興飛行場は上海と杭州の中間(一)上海方面の陸上 戦線は全線異常なく朝

%優勢な我が航空部隊の増强を得て敵に多大の損害を與へ土氣ミみに揚つてゐる(一)浦東方面の支那軍は我が艦

、道上の立場より

【東京電話】海軍省發表=-海軍では十六日午後九時五分副官談の形式を以て海軍航空隊の活動と上海に於ける一般

海軍省後表(十六日午後九時)

営経の一第宗堅

険保な利有新斬



橋 京・京 東・社 本

、ニラに引揚げ

粉碎、火災を起し盛んに炎燒しつゝある支那軍兵営十二日午前七時 〇〇隊が南口東北万十キロ徳勝口兵営を爆撃 支領軍の交通に動し十四日コンミ とユニケを認及、ケ部連用機によ | 大月十四日支那派用機に共同日本批配日本大使機は上海における日 | 最を用かにしたが十五日帳びコン の態度を明にした | 日本日本大使機は上海における日 | 最を用かにしたが十五日帳びコン の態度を明にした

ふもの 飲戸、同時にその財産も

よ
一
大月十四日支那軍用機は共同和

旧家假來の日本刀はい、男子の双生

新沙平 光 釜 全 南 漢 清 咸 朝 寒柳院吏 萝 萝 萝 萝 萝 萝 萝 萝

部部部社部部部社

が現所式) が取ってある。 が取ってある。

ロンドン日本大使舘再びコムミユニケ

銃後の赤誠

は

我が空軍の活躍 燃える防空献 金五萬五百七 十圓二十六錢也

髄憂國の

だ!之ぞ

? 宇宙相何人も見るする

銀行團

学生断髪の可否験解離状態の影響を保健社會省設置の可否験の影響が

派る!世は 雲北支に

抗両論集特別 欧防空の心得(漢里大引 四家 総動員 秦 震 と列強の動向(彩度) **但司中將評傳**(健藤豪郎 る銃後の赤誠譜(野原辰夫 那の抗日毎日(甲野江漢 翼陣營の二人男…※間券 那の巨頭の林器 ₹\*\* 4

境層外人アフリカの

大見様・大陸校・一屋大陸にした三好道・

醬。錘十七價定◎ 































林提督=世界の慰僑本大佐-







値下は時期の問題

今まで値下出來なかつたわけ

問題としてこの方面に力を正いてと遊んである。で吸る健康施設が

配も早くやりたいのだがいへば座下げもすぐやりたい、

の話はご了番頭へると思ふ、質を

無意ながらすぐ受入れる事が出版

一位下げてる能俗が一備はれば今度は料金値下げといる

土師朝鮮放送協會長の話

透脳質その他職部富局の言い分を用いて見よう

そこで新聞は「耐として、ラギオの朝鮮における費及率を貼ると話に戦闘である」。たとへば内の近代的二代表であるとにま思いがない、特に事情が繁進して來るとその必要は敢信する、ラギオと新聞――その背及における祖互職解がどうあらうとも、このこつのものはユユース優

出書すべきものがあらう、次に読々の家庭人からそれらに對する感観と希望を挙れ、同時に観覚する。何が関係のラギネ文化を歌しせたか ――その顧識はいろ!しあらう、そして歌つもの地の二十一パーセントに對し鬱鮮は重加一パーセント七にしか過ぎない、これは文化関係の発地の工十一パーセントに對し鬱鮮は重加一パーセント七にしか過ぎない、これは文化関係の発

わさないお化粧が、原壁の化粧の 夏の郷しい太陽の下、第一 \*\*\*かうした眞夏のお化粧\*\*\* 次 にお化粧の土台ともなる 脳を心であるものです。 手入れのゆき国いてあるものです。 たいと指揮けるデヤーミングとはいく まずと日本けるデヤーミングとはいく まずといるものです。

ますと大競色を白くすると申し 糖を少量的にして加へドロドロ傑 日やけ

\*\*思ひ切り焼いたお肌に \*\*\*

洗し粉で洗面します。日本在來の

番よいのは石廠をよして

自然的に 回復は

面のし兼ねます。

が肌のほによくありませんからお

の場が等をする方があります

觀

配

飯 塚

を避け、水白粉を腹して粉だけに 段をといればなりません。オキシーつせつとなずつて下さい。 日焦けの回復には極く自然な手

て類単はオレンデ系、こ 《黙い鑑りにはどんなに見事に化」あります。然し直かに水をあて

か

けらて美顔術 汗性の方に効果的

のき向んさ嬢お +**髪の夏眞**+

で脂肪症の方はなの外夏の美容に

と刺戯が温温ぎるのでいけません

割れた玉子を 綺麗に茹でる法

、お化粧する間にブッカキでマッ 一つまみ入れて茹でると、

普及の國防的見地から

に料金を値下せよ

せめて事變中に實現出來ぬ

一つまみ入れて茹でると、身が烈・ヒートーに記さばせどうできた戦の中に観さ、ことが入つて類れさうになった。 4……それでは、妻の中に観さしたので……の 朝戦の所や髪の所のとからなって質れるうと、

です。 「い間の皮膚を引締めて大懸命果が「手に箱でられます」と呼をしづめてお化粧が欠いすん。年後ももら一度試ると、研え書っ(手に箱でられます」というという。

るれで歌しさを見せたうち

風變リな酢物

脂に芝展の身をむいて育品

年の八月は信加河動が完成しようあとの五萬は約一年と思議り、明

運動が成功の時期に以て個下げのが態取者信用運動を起す際、このが態取者信用運動を起す際、この音を避けてゐるが、今年二月幽酔

値下げの時期について協質長は関

に就て觀測値下げ時期

七十銭程度に値下げする割になつ時七萬の豫取者が十四萬になれば 時期とする官打明けてゐるから當

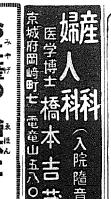
> で競も子も大喜びする 吟護技 要美、病気見舞に、お信談が手頃





















世際先手の脚下に優弾は登せられ の手中には歩がない、一歩を手 大、後手の「八歩かそれである。 「根が根」を を動画版では後妻子九代与あるが、「根が利くけれど、一歩切れて加る。 大、後手の「不少かそれである。」「根では、三八歩、同途。」「九男、 を活用して敵陣に帰く迫ったもの」く、然しられを記るたと、八 を活用して敵陣に帰く迫ったもの」く、然しられを三の罪と打下ろす。 を活用して敵陣に帰く迫ったもの」く、然しられを三の罪と打下ろす。 を活用して敵陣に帰く迫ったもの」く、然しられを三の罪と打下ろす。 である。 「根が利と、歩門「九男」は がある。 「根が入り、「地を手」

無代進星 ユキワリミンダ で居る方に御樊め致しますに合造色々な難に効目なく悩 お化 粧下

止顏

醤油

3

社會式株造釀屋嶋

躍進又躍進

軍の活躍!







素肌を培る ラブ乳液 

是非必要! ないです。を用クラフ
子供や網絡人方の人
子供や網絡人方の人

夏肌

VZ

らずの**砂腐**美酢糖と を放送です。逆知 にも粉薬です。逆知 にも粉薬です。逆知 にも粉薬です。逆知 にも粉薬です。逆知 にも粉薬です。逆知

と版物アルキンドのを概物アルキンドの表現作用で、汚や脂質に、裏部化粧水解をす。更に白鉛

べ ビー パ ウダー 薬用クラブカテイ

してお子様にゼヒ!

のなで頭の野な恢復する〇

養鷄及家畜飼料 野類語言 澤浦精米所飼料部 內科一般特品

でが、西瓜の出路りの今、一個は、敷店で買ふと却々に

西瓜の出盛りの今、自宅で「種子と青い部分に余いて一寸角位」製店で買ふと却々に高價で「た色の赤いよいものを選んで割り、

保依します。 ち目やはぎ目に織場を落かして手

**ずコルクを使って射艦をし、隠跡** 法とありますが、ごれは日間は必 ものをピール版などに除依する方

が究研の心苦に効薬

水粧化るれ顯

家庭で作れます こしらへ方は、西瓜の充分器し

研察した緊張な茶種などに入れて

大 提 和

瓜糖

製作 (1) と (1

神 東 御 

朝鮮土産ッルテラ

**李玉玉七→本理** 

**用中国三司金融制** 

經費も二千萬圓に增額し

明年度豫算に計上

學校生徒を通じ

時局認識を强化

清州市内の校長會議を開き

道で具體案を决定

条附したが十四日連に國防費五百 はさきに軍事や接頭に金二百國を (江華) 吉蛇面温水里金字中少年

側の献金方を仲郡守に答託した

忠北の献金

鮮満兩國の協定愈よ成立し

認可申請書を提出

の立族都番は断れて遊戯に監選、 て次點者となった、語音報者大百

一時間も屋上で大立廻り

| 当所は駅けて部後國政としての | 「清州」 北支事験別題以来 1. 新忠|

盛大な結成式學行

科學漁撈、完璧の陣

中の原限を利用して収録が定に全一群を借びて十一日来前、既定り方れるに至ったので都定局で、訪期、勝縄太郎氏は三説製鑑所改置の出いを書きたい。 枚数に郵達し得ないことを登屈さ四十日内外の日畝をもつては記載

銭の関合で機器金を受付する計説しりとなった、これで特許優と題つ 

事の領述があり、終つて村屋議談 監選し、同氏の接接の後、

兵に對し際間と歌歌を超送し **歴度の北支に於て活躍中の息軍器** ▲金根鏡江童郡道寶藏員 □上

動を集め来る二十二日で

シネマと強劇

| 宋の御城たる京東電源記師借歩失||大木が佐の北支江城と近が成り流|| 「長端||十四日午後五時半か、地大佐を探釈し、管理三百修名に目|| 度と悪する時島壽瀬館を消した、|| 南に離する蔣瀬館を明ま盛館|| 本た十四日は午後三時かに巻ける蔣瀬館を消遣、臨児電であった|| では歩兵大佐面積速配の研究と時であった|| では歩兵大佐面積速配の研究と時であった|| 「一日午後二時から小帝|| 局に離する蔣瀬館を開催、臨児電であった|| 「一日午後二時から小帝|| 局に離する蔣瀬館を開催、臨児電であった|| 「一日午後二時から小帝|| 局に離する蔣瀬館を開催、臨児電 題り人が膨起したが右は原町二三 れになつて倒れてゐる支那人を見 総道貨物係内部資紙的並で加まみ

響は採算の好化と経着順調に何れ あまり名残りの機関をあぶつた掲し川揚けるにも金がなく、把擬の一別配章方止に開播機三二で本國 可的記述所の鍵盤の桂に頭をよう っけて自殺を闘つたものである

も単大し移入も密根、天日郷、印 硝子板等は依然好況であ 換、開那故手 日まで五日間那無線記で那内全面

太陽レーヨン咸興工場

段、電球響である、交锋人にな彩像野、人産網布、梁書、打器、つとてあるがこれは主に福州圏とのしてあるがこれは主に福州圏との

【威興】停期また停頓、ほては交、買煙砂溝に掘印することに決定

早急着工の段取り 数に二千百十一囲が主なもの助護機費補助四百種と防空筋

来客の接待にお 産 見 舞 に病 氣 見 舞に 一家團欒の飲物に

現三菱合資の所有地を譲受け

夏は冷水に薄めて召上れ 皆な大喜びて召上る! 老人からお子様まで

味芳香!

龍岡郡を筆頭に増收確實

萬三千石の収穫を豫想

無調要申、あつたか、生産は既外、世ではたことによるものでで、本秋「に配付領立することに決定した」、して表、有馬・五郎、中郷照性様、つき各世に買うては「常に原林健養者の整理規模化を進」の結果秋豊徳三百八十五夜を各種「九五泉、有馬・五郎」の「年頃」が南直山林説では太年の「節において有利に遭職いたゝめ非」内各面料置抵住勢戦を招換、協議「政の根拠象は左の通り 一萬三千二の牧」を像想され江東 の市場取引は物質騰胜の影響によりさせたことによるもので、本秋

に配付帰立することに決定した

中堅青年講習會

一〇八泉 天舒相三即(並結)的
九五聚 有場 五型(金場數)
八七聚 古川 即於(強場數)
八七聚 古川 即於(強則)
四九聚 谷川 即於(強則)
四九聚 中島 使天(淮南)
四五聚 中島 使天(淮南)
三五聚 本田 增天(祖同)
三五聚 本田 增天(祖同)
三五聚 本田 增天(祖同)
一八聚 田野港大郎(名間)

「江産」西島館では去る十四日管「した 江華の秋蠶 百八十五枚

清州の學議決定

田所氏を擔ぎ出し

漸く定員を満たす

御十七萬枚を目標に関系を各職し「で九日間鑑問節を開催 「清州」郡宮局では本年度以生産「幸に集めて十七日から二十五日ま 「東州」郡宮局では本年度以生産「幸に集めて十七日から二十五日ま

郷を行った第八回忠治追領は十三 【大田】非常時局に直面し緊急招

原案を可決四件の議案

映畵を地でゆく

大きないて十一日来清、既定っ方。氏の武運長久を赤西し十時か、第一際郷太郎氏は三穀製郷所被散の用。歳一同は大田神祗に発釈しな軍将際郷太郎氏は三穀製郷所被散の用。歳一同は大田神祗に発釈しな軍将を積むて十 日来清、既定っ方。氏の武運長久を赤西し十時か、第一次を積むする。

料養滋の許特賣專

勝答用化粧函額希望者に当 生闘有名葉店は料品店にあり

つた自殺 支那人の變 未遂に終る

方の根源、葡萄糖、児精、アといるので成分は人に酸 ミノ酸であります

とれぬ場合体制して他力が何かせま一部部権はよく質問が習ば入している すから如何によいかご分りでせら

内に吸收されて禁毒になり 勞させず飲めば湿かに、體 質の荣養料で共にい場と過 思糖は葡萄糖と同じはな性 節が、元氣をつけます

低色構成になくてはなられものであ ミノ酸は海代級の分化を促し、酸

進させます。食慾を増 どりこのを飲めば『腸それ

**需電裝備完成** 

漁大津無電局の竣工と共に

現一生・前で焼食の蛋白に塗った。 「「「一」の解説と解析では、ことになった。 「一」では、「一」では、「一、「一」の解説を開始する東洋第一の昭和水 復活せしむべく明年度登録に出し、 「一」の解説を増する東洋第一の昭和水 復活せしむべく明年度登録に出し、 「一」の解説を増する東洋第一の昭和水 復活せしむべく明年度登録におし、 「一」の解説を指する東洋第一の昭和水 復活せしむべく明年度登録におし、 「一」の解説を指する東洋第一の昭和水 復活せしむべく明年度登録には、 「一」のでは、 「」のでは、 」のでは、 「」のでは、 「」ので 支局後援の時局所民大群政府は十

開館、整衆数于名選内を埋め先つ「除名の襲撃にが大の流動を興へた」し、その内部は至り通りである四日午後七時から希腊弥羊館館で「て三時間に取り器家を飛び、三百一六萬八千七百三十八間の網栓を示ける後週の時局が成大艦家館は十一批支事態と現が風度の態度につい」で即羊同期に比較すると四百八十三回一時期、記載作業部主催。各新聞「で時島勝談館を見能したが大佐は「干九百八十九萬四千五百八十三回 発恩郡では郡民から獨れなく一人 後二時から文山公立労の総技職は、十三日午大野崎氏大佐を招職し、十三日午大野崎氏大佐を招職し、十三日午

が戦災に立たる、日を調待ちまり、 をかな見解申し上く、なほ倒全 係を御見解申し上く、なほ倒全 係を御見解申し上く、なほ倒全 のを見解すり上く、なほ倒全

**添洲國との取引旺盛により** 

飛躍した仁川貿易

して設立の戦慄を進めることになっ

**结代程店《时本式會社王 置后店店** 本編 Wan 大日本時期 開發紅海馬B



選載 明 皇書

多數博士實驗證明

三百五十年岩尾家傳

速

一効薬

筋 本 地盆田日州九

北海中學

出征軍人家庭旅行運動競技必 小兒疫痢ハシカ下痢膓熱ニ最良薬

高貴動物六種ホ

綜合作用



のドロツブス



プレリス

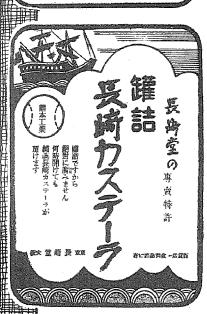
铈苯品

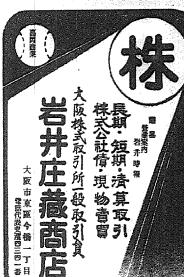
線維、いき下り会師を優空圏空の丹仁 **賞 窓** るきで納駅がーダイラグり留か器客











Leica

新版通 俗

型ライン 露出表カメラに全 寫

說明書欣呈

**國語** 學語文學系 日曜祭日休 午後八時迄營業 河原寫奧機店 大阪市 製區 坍筋 瓦町 電停前 北濱島 78番 79番 1910 1



# # 15 TE

京城府鍾路

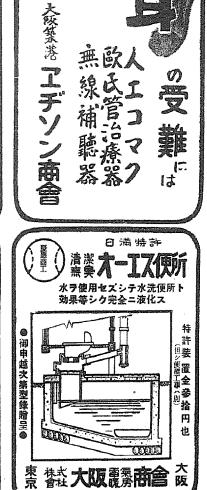
大家先久度中四 三 本 荣 器 店 踔 月 元 町

鄭太昭尾岩









大阪市 函竄 江戸堀南遜

の受験

7



+

**他火**ご颱風を潜り

**死線を突破して** 

英國守防特迪二世 在 医

世民軍守府特進一水

世界新己第二分四

満難した 長崎丸闘る

から北支軍艦に腕する動向、皇軍 訓練があり、終つて弘原馬粉課長

佐世保特進二天

是頭丁斯特ш一水

心間 松龍

職死者
・
支部隊に於て左の二十四日である 間に於ける海道将兵の眼死者は全 人月十三日 以降十五日に至る三日

> 吳誠守祈特進一水 石井 次郎 横須賀鎮守府野道一兵 梅司 横須賀特進二兵

三日間で二十四名

佐世民鎮守府特進三兵伏見 佐世保護守府特進

在世界属于所特础一曹

是面守府特進一水

祖 留美

**加州國守府特進二四** 

仁吉

模須四國守府特進三曹

兄弟は北支に出征してゐるお父ち

本町で婦人干人針除に混り赤磁の

一鉛を求めてるた、此本紙の記事「本础に近く一兵士の懶純を吹年に「の館院」を取訛ふことにしたの事で解入于人錦縢に混り赤織の」と鱖瀌の便りを本述に寄せて來た「鰥へるため早連『兵隊さんと少年

と緊張の便りを本社に寄せて來た 心かい闘事してやりたいそして末

百米平泳に

報道職線の最初の職件者として全

けふ京城 瞬部記者遺族

全鮮都市對抗

下痢ハライタに

T.O. 2

油断するなく

支局記者故障協無四郎君の訓練室 製に勇名を暴かした大阪朝日京城

でできます。 大平、山本(場) 関南の大野では 大平、山本(場) 関南の大野で 大平、山本(場) 関南の大野で 大平、山本(場) 関南の大野で

見も、全く治療とい病のはやる モサンを服んで

ものにも、すぐ下脚

| 始、一A 図客で京城勝ち午後六時大平、山本(巻) ==== 

一門 一大 「キング」が 光し人と覚慮様子さんは十七日

やんへ干人針を送る高め人混みの一類もしい少年を褒めてやりたい」

**美治ちゃん(アイ)照文ちゃん(サイルの) 浦林童明君は『一度兄弟に曾つて** 

既最、京城南山町三ノ一一道本語。をみた歩兵第七十九騎隊の在登り

本社の斡旋で近く會見

畵映

北支事製ニユース第六散上り第九散(上声事製ニユース第一散)まで、

「時局に鑑みて」 小支戦闘報告

日本編物機械株式會社連報選問的場合。17-10

**| 八科** 朝鮮神宮表参道

今夜八時

永登浦演藝館 四年 新空 只中位 神津幸古衛門氏 本性能能直藤井安正氏

報告講演會

中休みなく収入確實

と毛メリヤス製造

入場無料。但し場内整理のため一人金十銭を申受けます。なほ定刻。

**是試守的特施二四 四**國商問題

是銀子的特進一水 在世界鎮守府特班三西

**炒須買特進特務中**間

称本 概男

しては市仏殿の苦心がまざく 【東京電話】海道省部表によれば



ま可し言へね、この総日本四野は一衆名例を建立出いた。そこれについて一発金剛郷を聞いた

| 館事情から機様館には出れたら

これから最認定的に

巻として二十萬圏を投し民政忠で一書館「初めドイフ、イギリス、ア 満洲國建國の事業

が城上に立ては炎炎海域を描かす。「味井粽が残に二千倍の黄黍の眼。」つぎに清吟香、夏向農寺脈出派の「飲の按例を添っ、魚・味井粽が残、磁の気が並れる、チーアと郷上の「馴れるやうな描字のうちに陸城、が黒内に充ち松田本社政治部長郎」カチも、白層の手もやんで一座粟・戦の・雄呼びは一時間半も眠して

器器の如き二十条の意象が浴びせ「耳が撃中される。

は七國歌點が代を合唱、嚴鵬な領の遊はハタとやんでレコードに合

全世紀正の響がかられば白眉

一個では、これのでは、一下さい。 から、世界版史に生態健康として、これのでは、死に持った跳り、はしてゐる。と思えを活かな、によって初めて豊盛されて批解、は、死也とり生衰した者、のでは、死也とり生衰した者

インセン語言

さん、翌日同僚の復中まで失敬

ノ八〇『やぶそば』に女中とな

京市丸ノ内変廿一戦館

戦**行**倉

大切な懐中時間がなくなつてゐ

そして酒に帰って見ると、

るのに気削き、はてあの女が怪

中松響事務所

第宅

内地人

耐

三名、虾人生、各半節三

電 業 **宅** 

ましたとをお能ひ申上げます のため多数の方にお簡りを願ひ がという。

即在、世界歴史に生形雄として

した端井本武将御殿は十六日午後 約一ヶ月間泉軍と共に北支で活躍 事態の能量について和一時間に亘 三時から総当局壓成組銀所で北支

晴れ (きのよの最高温度)

多方 関和型の方限歴書芸

九七日日新

棄內

父兄一議病氣中ノ處療養不料叶本日午後零時十分死去仕候間 此段連浩候也 電品網送網十段時代 電品網送網十段 電品網送網十段 等時中分死去仕候間 此段連浩候也 解明時間 東京 一次

けふの天氣

血戦を講演 鐵道局でも

[珍名辭典] 石川縣梅島

**京城府以前で原鑑に行た、原体机。これが力量い第一際、しから頭 死蝎月襲の陣中、鯉頂護・巧なせ 人たも)** 京城府以前で原鑑に行た、原体机。これが力量い第一際、しから頭 死蝎月襲の陣中、鯉頂護・巧なせ 人たも) **鹿螂井安正氏の『北支熊伽龍原大』> 具駄として指手を受けた『鹿台』の任務を果し、また敵師変後、黒』との聯邦特で説。左上は前段の大参總理権国を呼んで本批北支持派』試に緊姦さつて壇上に乗立ったま』し職役に銃戮をとつて鄭明にまず。誤戦闘の罪を閉ちた(鳥真石は慰** 

を受験した。 「は三年八ヶ月の日報を建し、他会世界の思究に配布することと を確しは三年八ヶ月の日報を建し、他会世界の思究に配布することと でのという。 「は三年八ヶ月の日報を建し、他会世界の思究に配布することと

世界に宣揚するため建國記念事・納を賜はつた上、各大學師師所に 「競京十六日同盟」 第三国の建國 上すると共に日本中部に献上

をおしました。 アンフは全のところ来、アンド、ドンニ型と…… 関連単位総の経行やファけること、原後行に成くましい勢力を継げてにならり、ピンフは全のところ来、原後行に成くましい勢力を継げてのよいでは、 アンド、ドンニ型と…… により、を継続題をかれば、 アンド、ドンニ型と…… により、を継続題をかれば、 アンド、ドンニ型と…… -進言支配の不信無體の行動には 宣傳で支術を接っているが國一 く文明を見通すだいた。 - トラ・ピー政を部所に於て野島波線に離するに用れた。 (数と・十六月年前九時かに郷消敷に用れた) (数・・十六月年前九時かに郷消敷

昨日鐡道局で

時局認識の 緊急會議

日本の陸海軍は 徹底的にやる 長友駐在武官歸朝談 だらう

に堪へれ

次き、我々は胸をわく/~させ 度にバラくしともの凄い火焰が ながらこれを見てゐた、唐雨の

光景を堅した、大隅に開射する

統師に従ってくれたことは照謝押にも軍客一同は客者さ組長の

長崎軍話」上海からの避難が人 **るところだつた、颱風は依然猛** は十三日の金曜日に出れしたの 小宮山長崎丸船長は跳っ、本船 か原用に稠ひされ難航に離析 、郵船県頭で爆弾の洗魔を受け 酸げた、今一日出呪が遅れた や石油タンクに産焼しもの凄いの上室は黒道天に冲し夜に入る 三十三軍の地路で、東側は上海「際洋教戦の心臓」に随する詳細な「の無難にಪいての御苗があつた人能した、假労地路は上海下方」先つ青田局廷から非常時に於ける「から北支邦戦に隠する動詞、皇司人 を開けてやつとの思ひで長崎に

七十六翁感激 眞綿三百人分を献納

軍の活動に緊張した事は十六日まころが計五日上海に於ける我が至

生々しき血の報告

満生た、黒

に贈く

府民館の内外を埋め盡した

主催が対記者の講演會

少総の河本みと子ごしにすつか **書る二日原城に出て苑原町一衆** りメートルをあげ、大脱になつ **党堂に出かけ若認つたつもりで** 

大阪・全国 中村 飯雄 1個魚祭育社報 格を担いた。 東四番町の 内面人二年回位で責任をもつて 東四番の「東京任をもつて 東京任をもつて

(八一番)

號旬中月 中省二十五州一•行及回二月每

井吉牧小 田米安半 村田内室 岡田井澤 

二九十 〇八 段紀安

班政市日本韓區本町

柳 鮮 銀 遊銀

米國ヒギンス振はず

夏斌守府告进一水 · 安正 · 安斌守府特进一水 · 大島 直離 原氯字胺三共 略 截止

> (日大)は二分四十秒。で一着と、シス選手は握はず、七者に着ちた。 百米平泳決勝に於て蹇皇懿太翌手。したがパタフライ就法の米國ヒギ 神宮プールで行はれたが、男子二一なり世界新記録(長水路)を樹立」と郷里春川原等平町に向い京城を 引揚げることになった 午後一時四十分京城既『いぞか』

1000001000人

**資助 020000000** 逢萊町の火事

新胃腸薬

原表 00000100A 全圖中等野球

た下綱便がつぐき、どうしても 後の早いのが特長ですも、外の胃腸薬と迷つ で下さい。 既ができません。大人も、小

永野 置之一手職大衛第三日は十六日午後明治 【東原支配数】全日本水上頭线遊

|狂聴する水銀柱、グン/~のぼる||を百五十トンに増加しても需要に | 層質を鬱苦しくする、品不足でも 但し値段に影響なし

**暗鳥組倉庫焼く** 

の暑さに氷飢饉

代不良・腹を

需要に應じ切れず配給制限

**六日午後十時三十六分運業町** 

ので思い切つて出て来たが難が、 威を振つてゐた、四國の事情か

| 畝神疾として德蒙を集めてゐるが| ともせず、跨政府から服山親兵分 | 間章として五十間を献金した。と「際議してゐる | 解説、古人分を献的し、大石分紋長以下 | 御裳、おかげで氷屋け大築高、朝 | いか』 「氷はどうした。 | 解と正づて來るので館跡では、宮・渡遊郎的の提出近年衰(もに 北京部戦と聞くや直に老蝎をもの | 移立で五里の近を出掛け、皇正忠 | 百人分を献的し、大石分紋長以下 | 御裳、おかげで氷屋け大築高、朝 | いか』 「氷はどうした。 | 喉をから | 総を迫つて來るので館跡では、宮・渡遊郎的の提出近年衰(もに) | 北京部戦 | 国くや直に老蝎をもの | 移立迫つて來るので館跡では、宮・渡遊郎の提出近年衰(もに) | 北京部戦 | 国くや直に老蝎をもの | 移立迫つて來るので館跡では、宮・渡遊郎の提出近年衰(もに) | 北京部 | 北京和 | 北京和 | 北京和 | 北京部 | 北京和 |

『棟を焼いて十一時半頃火した、『即か』観火、倉甲全四棋のらち

